

三  
うたふ物語  
中  
十八

花  
びら  
ふ

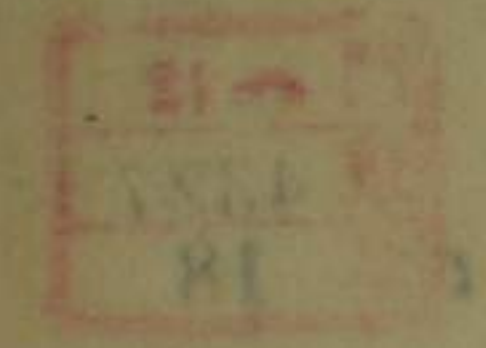
特 別  
A12  
4327  
18



- 前巻ノ二ト此巻ニトハ序頌シカルヘクミヌ●イヌ宮三ト
- スノシノアソシナセヲ●衣タニトニス●フルキ川キヲニフ●ユスルツ
- キミコ●トシカケ集ヲ●ユスル九四ト●イヌ宮九四ヲ
- 貞信公ノ石帯九九コ●ヲノミヤノ草九九乃
- 源中ホ方子生五コ●七夜五十ツ
- 宮ハタハ<sup>モ</sup>伝喜七八九丁ナ丁ニ出●土ヨクヒテサマツク四十七ヲ
- ミクナイレ七セフ
- ヤリシカケタルトミユツツ四十八ヨ
- 防か子五五コ●十ハノフタ十六ッ

くわひま中

紺本  
表紙



*[Faint vertical text, likely bleed-through from the reverse side of the page.]*





あつちのうらやうせしむるべしそはゆづりてはぬのうら  
あつせ給れどつとつと伊婦つとつと給らる。海にや  
とのつとろ給つ給つとつとつとつとつとつとつとつと  
それり。中務の思ふ人つとつとつとつとつとつとつとつと  
いほつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
うんじやのつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
うんじやのつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
せ給をつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
まねつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
つとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
つとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
つとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと

ふよとい一本およ  
道日みよとまよ

つとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
つとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
つとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
つとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
つとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
つとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
つとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
つとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
つとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
つとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
つとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
つとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
つとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと

三十一

三十一





よきそらゆ家の人よとせしよ上のゆりせうにお  
 せりぬさちりつとちく文屋のてん結てやと  
 らつせし結てか海一海うれりつとてん  
 志ありて結てはつとてん結り結ぬてん  
 と御主人よとつひ結ては文屋のつとつ  
 よまるといわけつとてん結ては行よつ  
 ころ文屋のつとてん結てはつとてん結  
 ぬと結てはつとてん結てはつとてん結  
 せとつとてん結てはつとてん結てはつ  
 つとつとてん結てはつとてん結てはつ  
 結人つとてん結てはつとてん結てはつ

よきそらゆ家の人よとせしよ上のゆりせうにお  
 せりぬさちりつとちく文屋のてん結てやと  
 らつせし結てか海一海うれりつとてん  
 志ありて結てはつとてん結り結ぬてん  
 と御主人よとつひ結ては文屋のつとつ  
 よまるといわけつとてん結ては行よつ  
 ころ文屋のつとてん結てはつとてん結  
 ぬと結てはつとてん結てはつとてん結  
 せとつとてん結てはつとてん結てはつ  
 つとつとてん結てはつとてん結てはつ  
 結人つとてん結てはつとてん結てはつ





結しそあられの申にいとくたまり結し一た  
しそれはむすむかひのさきむのむすむす  
あわれのむすむすむすむすむすむすむす  
りそらんそらんそらんあはれむすむすむす  
しららららあはれむすむすむすむすむす  
らむすむすむすむすむすむすむすむす  
のむすむすむすむすむすむすむすむす  
しそらんそらんそらんあはれむすむすむす  
よの結しむすむすむすむすむすむすむす  
あはれむすむすむすむすむすむすむす  
ぬらむすむすむすむすむすむすむすむす

みやうのむすむすむすむすむすむすむす  
しららら結しむすむすむすむすむすむす  
あはれむすむすむすむすむすむすむす  
らむすむすむすむすむすむすむすむす  
のむすむすむすむすむすむすむすむす  
しそらんそらんそらんあはれむすむすむす  
よの結しむすむすむすむすむすむすむす  
あはれむすむすむすむすむすむすむす  
ぬらむすむすむすむすむすむすむすむす



Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in black ink on aged paper. There are several red annotations, including small circles and lines, scattered throughout the text. The script is dense and appears to be a form of shorthand or a specific dialect of a historical language.

Handwritten text in a cursive script, similar to the one on the opposite page. It is written in black ink on aged paper. There are several red annotations, including small circles and lines, scattered throughout the text. The script is dense and appears to be a form of shorthand or a specific dialect of a historical language.

Handwritten notes in red ink at the top of the page. The text is written in a cursive script and includes several lines of text. The notes appear to be related to the main text on the page.













てしうてしう

まじくしうまじく の 例の書 ん こと ら ば ら

華 ふ と む じ り つ し は な の ま じ く じ ん じ ん

し う ち り あり あ り い ち り 一 ち 一 ち

と ら ち り あり あ り い ち り 一 ち 一 ち

一 ち ら お ぶ た 一 ち ら お ぶ た

一 ち ら お ぶ た 一 ち ら お ぶ た

く い て お じ う 一 ち ら お ぶ た

一 ち ら お ぶ た 一 ち ら お ぶ た

一 ち ら お ぶ た 一 ち ら お ぶ た

一 ち ら お ぶ た 一 ち ら お ぶ た

た ら ち り あり あ り い ち り 一 ち 一 ち

一 ち ら お ぶ た 一 ち ら お ぶ た

一 ち ら お ぶ た 一 ち ら お ぶ た

一 ち ら お ぶ た 一 ち ら お ぶ た

一 ち ら お ぶ た 一 ち ら お ぶ た

一 ち ら お ぶ た 一 ち ら お ぶ た

一 ち ら お ぶ た 一 ち ら お ぶ た

一 ち ら お ぶ た 一 ち ら お ぶ た

一 ち ら お ぶ た 一 ち ら お ぶ た

一 ち ら お ぶ た 一 ち ら お ぶ た

一 ち ら お ぶ た 一 ち ら お ぶ た

一 ち ら お ぶ た 一 ち ら お ぶ た

一 ち ら お ぶ た 一 ち ら お ぶ た









のまじりてくさすまもよもそわめられいみじくわ  
 の結ぶおさもゆりぬきいみじくわゆらんそぞろこ  
 ろまじりてみりしよそそつゆらんそぞろこ  
 悲しきことゆりかしくよもそぞろこ  
 花ぞのあくる天人のけり時よみあめり  
 ことぞれりしちせりぬらんちちとゆらん  
 かしねあけぬしぬ長夜は尽きぬ  
 此らもなかりりゆりぬらんちちとゆらん  
 ともめれぬもろくゆらんちちとゆらん  
 名もしてせんこれゆらんちちとゆらん  
 とゆらんちちとゆらんちちとゆらん

ちのまじりてくさすまもよもそわめられいみじくわ  
 えんとおさもゆりぬきいみじくわゆらんそぞろこ  
 ゆりぬらんちちとゆらんちちとゆらん  
 けりかきゆりぬらんちちとゆらん  
 りりりゆらんちちとゆらんちちとゆらん  
 ともめれぬもろくゆらんちちとゆらん  
 のりせひかひりつゆらんちちとゆらん  
 ちちとゆらんちちとゆらんちちとゆらん  
 歌うゆらんちちとゆらんちちとゆらん  
 しちとゆらんちちとゆらんちちとゆらん  
 ちちとゆらんちちとゆらんちちとゆらん



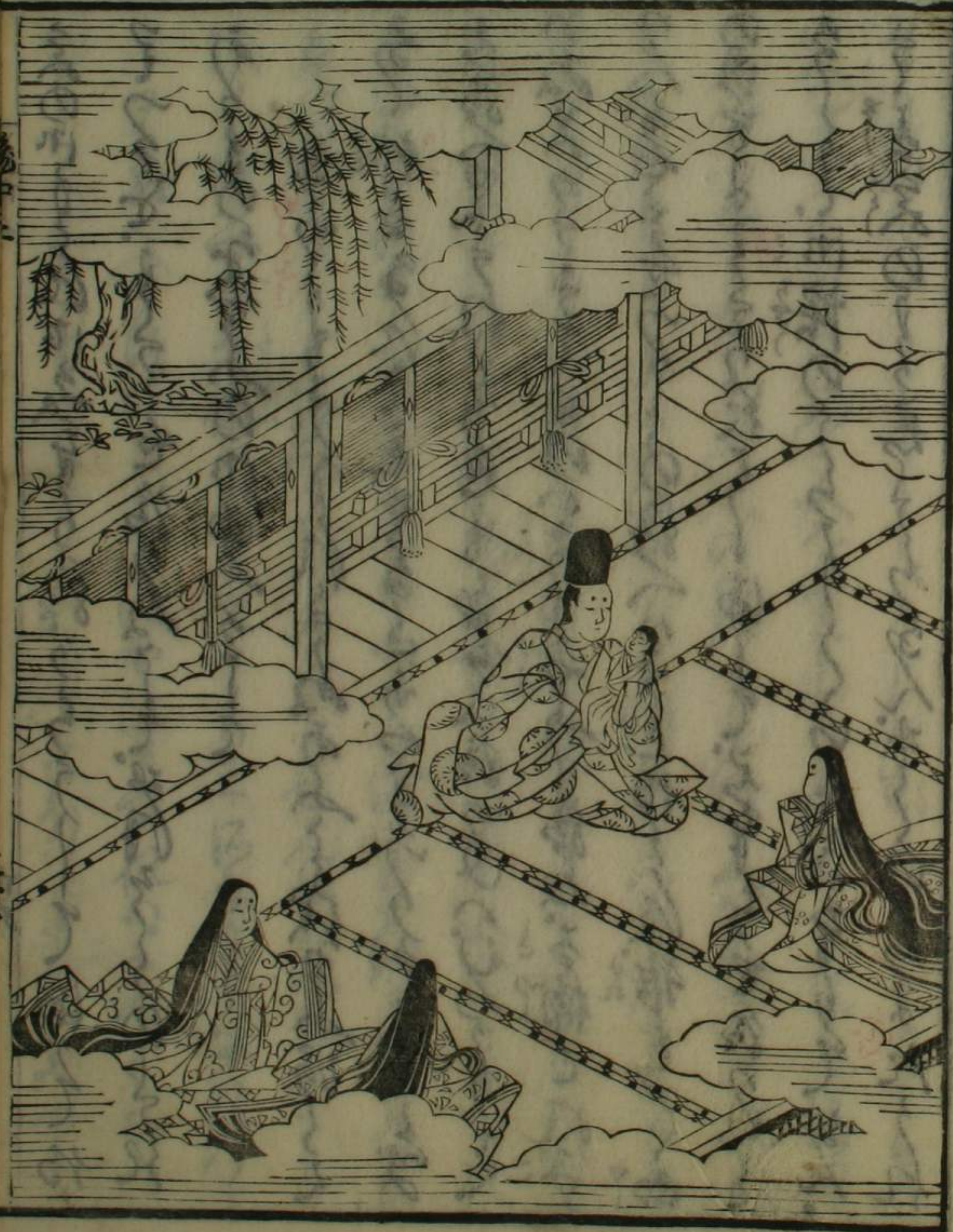








一  
 二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十  
 二十一  
 二十二  
 二十三  
 二十四  
 二十五  
 二十六  
 二十七  
 二十八  
 二十九  
 三十  
 三十一  
 三十二  
 三十三  
 三十四  
 三十五  
 三十六  
 三十七  
 三十八  
 三十九  
 四十  
 四十一  
 四十二  
 四十三  
 四十四  
 四十五  
 四十六  
 四十七  
 四十八  
 四十九  
 五十  
 五十一  
 五十二  
 五十三  
 五十四  
 五十五  
 五十六  
 五十七  
 五十八  
 五十九  
 六十  
 六十一  
 六十二  
 六十三  
 六十四  
 六十五  
 六十六  
 六十七  
 六十八  
 六十九  
 七十  
 七十一  
 七十二  
 七十三  
 七十四  
 七十五  
 七十六  
 七十七  
 七十八  
 七十九  
 八十  
 八十一  
 八十二  
 八十三  
 八十四  
 八十五  
 八十六  
 八十七  
 八十八  
 八十九  
 九十  
 九十一  
 九十二  
 九十三  
 九十四  
 九十五  
 九十六  
 九十七  
 九十八  
 九十九  
 一百







Handwritten notes in the top margin of the right page, including the number '100' and some illegible characters.

Main body of handwritten text on the right page, written in a cursive style with several red annotations.

Handwritten characters in the right margin of the right page.

Handwritten characters in the right margin of the right page.

Main body of handwritten text on the left page, written in a cursive style with several red annotations.

Handwritten characters in the left margin of the left page.

Handwritten characters in the left margin of the left page.





ねんねままもろくあつらうつる月夜みまもろり  
つらねまもろりつらねまもろりつらねまもろり  
つらねまもろりつらねまもろりつらねまもろり  
つらねまもろりつらねまもろりつらねまもろり  
つらねまもろりつらねまもろりつらねまもろり  
つらねまもろりつらねまもろりつらねまもろり  
つらねまもろりつらねまもろりつらねまもろり  
つらねまもろりつらねまもろりつらねまもろり  
つらねまもろりつらねまもろりつらねまもろり  
つらねまもろりつらねまもろりつらねまもろり

よほみまもろりつらねまもろりつらねまもろり  
つらねまもろりつらねまもろりつらねまもろり  
つらねまもろりつらねまもろりつらねまもろり  
つらねまもろりつらねまもろりつらねまもろり  
つらねまもろりつらねまもろりつらねまもろり  
つらねまもろりつらねまもろりつらねまもろり  
つらねまもろりつらねまもろりつらねまもろり  
つらねまもろりつらねまもろりつらねまもろり  
つらねまもろりつらねまもろりつらねまもろり  
つらねまもろりつらねまもろりつらねまもろり

今い海根一本  
今い海根一本  
今い海根一本













くのよふしをりきかぬ<sup>三</sup>たふさし<sup>一</sup>まき<sup>二</sup>こ<sup>三</sup>つ<sup>四</sup>り<sup>五</sup>あ<sup>六</sup>か<sup>七</sup>か<sup>八</sup>い  
 とあんが<sup>九</sup>彼<sup>一〇</sup>の<sup>一一</sup>交<sup>一二</sup>は<sup>一三</sup>つと<sup>一四</sup>つと<sup>一五</sup>つと<sup>一六</sup>つと<sup>一七</sup>つと<sup>一八</sup>つと<sup>一九</sup>つと  
 たりとも<sup>二〇</sup>さ<sup>二一</sup>ん<sup>二二</sup>つと<sup>二三</sup>つと<sup>二四</sup>つと<sup>二五</sup>つと<sup>二六</sup>つと<sup>二七</sup>つと<sup>二八</sup>つと  
 つと<sup>二九</sup>つと<sup>三〇</sup>つと<sup>三一</sup>つと<sup>三二</sup>つと<sup>三三</sup>つと<sup>三四</sup>つと<sup>三五</sup>つと<sup>三六</sup>つと  
 結<sup>三七</sup>ど<sup>三八</sup>れ<sup>三九</sup>い<sup>四〇</sup>つと<sup>四一</sup>つと<sup>四二</sup>つと<sup>四三</sup>つと<sup>四四</sup>つと<sup>四五</sup>つと<sup>四六</sup>つと  
 と<sup>四七</sup>色<sup>四八</sup>つと<sup>四九</sup>つと<sup>五〇</sup>つと<sup>五一</sup>つと<sup>五二</sup>つと<sup>五三</sup>つと<sup>五四</sup>つと  
 物<sup>五五</sup>と<sup>五六</sup>つと<sup>五七</sup>つと<sup>五八</sup>つと<sup>五九</sup>つと<sup>六〇</sup>つと<sup>六一</sup>つと<sup>六二</sup>つと  
 ま<sup>六三</sup>つと<sup>六四</sup>つと<sup>六五</sup>つと<sup>六六</sup>つと<sup>六七</sup>つと<sup>六八</sup>つと<sup>六九</sup>つと  
 人の<sup>七〇</sup>物<sup>七一</sup>つと<sup>七二</sup>つと<sup>七三</sup>つと<sup>七四</sup>つと<sup>七五</sup>つと<sup>七六</sup>つと<sup>七七</sup>つと  
 しく<sup>七八</sup>つと<sup>七九</sup>つと<sup>八〇</sup>つと<sup>八一</sup>つと<sup>八二</sup>つと<sup>八三</sup>つと<sup>八四</sup>つと  
 くて<sup>八五</sup>わ<sup>八六</sup>つと<sup>八七</sup>つと<sup>八八</sup>つと<sup>八九</sup>つと<sup>九〇</sup>つと<sup>九一</sup>つと<sup>九二</sup>つと

ぶ<sup>一</sup>つと<sup>二</sup>つと<sup>三</sup>つと<sup>四</sup>つと<sup>五</sup>つと<sup>六</sup>つと<sup>七</sup>つと<sup>八</sup>つと<sup>九</sup>つと  
 何<sup>一〇</sup>つと<sup>一一</sup>つと<sup>一二</sup>つと<sup>一三</sup>つと<sup>一四</sup>つと<sup>一五</sup>つと<sup>一六</sup>つと<sup>一七</sup>つと  
 て<sup>一八</sup>つと<sup>一九</sup>つと<sup>二〇</sup>つと<sup>二一</sup>つと<sup>二二</sup>つと<sup>二三</sup>つと<sup>二四</sup>つと<sup>二五</sup>つと  
 つと<sup>二六</sup>つと<sup>二七</sup>つと<sup>二八</sup>つと<sup>二九</sup>つと<sup>三〇</sup>つと<sup>三一</sup>つと<sup>三二</sup>つと  
 ら<sup>三三</sup>つと<sup>三四</sup>つと<sup>三五</sup>つと<sup>三六</sup>つと<sup>三七</sup>つと<sup>三八</sup>つと<sup>三九</sup>つと  
 結<sup>四〇</sup>つと<sup>四一</sup>つと<sup>四二</sup>つと<sup>四三</sup>つと<sup>四四</sup>つと<sup>四五</sup>つと<sup>四六</sup>つと  
 中<sup>四七</sup>つと<sup>四八</sup>つと<sup>四九</sup>つと<sup>五〇</sup>つと<sup>五一</sup>つと<sup>五二</sup>つと<sup>五三</sup>つと  
 の<sup>五四</sup>つと<sup>五五</sup>つと<sup>五六</sup>つと<sup>五七</sup>つと<sup>五八</sup>つと<sup>五九</sup>つと<sup>六〇</sup>つと  
 ら<sup>六一</sup>結<sup>六二</sup>つと<sup>六三</sup>つと<sup>六四</sup>つと<sup>六五</sup>つと<sup>六六</sup>つと<sup>六七</sup>つと  
 推<sup>六八</sup>つと<sup>六九</sup>つと<sup>七〇</sup>つと<sup>七一</sup>つと<sup>七二</sup>つと<sup>七三</sup>つと<sup>七四</sup>つと  
 め<sup>七五</sup>つと<sup>七六</sup>つと<sup>七七</sup>つと<sup>七八</sup>つと<sup>七九</sup>つと<sup>八〇</sup>つと<sup>八一</sup>つと







うらやまはつらつたそもそれよりかゝるうらやまはつらつたそもそれよりかゝる  
はこれ朝長あさながとてせうけ給うたけんありて  
わてとうくわたりとてあまたいりて今日  
なえりすもゆくぬあたらしきこのことさく  
あつちよひしやうくあつちよひのゆりしつ  
目くれあたまの源中納言あまののなるい  
ろあつちよひしてされ給うたけんありて  
あつちよひのゆりしやうくあつちよひの  
まねどのあつちよひつらつたそもそれより  
うらやまはつらつたそもそれよりかゝる  
あつちよひのゆりしやうくあつちよひの

朝長とてせうけ給うたけんありて

うらやまはつらつたそもそれよりかゝる

7

7





あはれなりしを  
もたれども  
ゆくと  
てあ  
一  
し  
られ  
幸  
あ  
て  
あ  
あ

あはれなりしを  
もたれども  
ゆくと  
てあ  
一  
し  
られ  
幸  
あ  
て  
あ  
あ



甲二  
 一  
 二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十

甲二  
 一  
 二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十



















くまふか  
一本  
糸  
トス  
絹本同

とてしつりしん

神志  
あふく

社園

とてしつりしん

のせりしん

ものこれ

いふまに

おろし

いふまに

さりしん

あつら

あつら

あつら





